

【ケース1】生産性向上

<課題>

解体工事等において油圧ショベルに取り付けて使用する油圧ブレーカーを自社で保有しておらず、都度レンタルしている。レンタル機材の手配・運搬にかかる時間や費用が大きな課題となっている。繁忙期には、希望日にレンタル機材が確保できず、工期の遅延や失注のリスクを抱えている。

<補助金の活用例>

油圧ブレーカーを自社導入することにより、レンタル機材の手配・運搬にかかる時間を削減する。機材が必要なタイミングで即時に使用できるため、工期の柔軟な調整や、急な追加工事への迅速な対応が可能になる。
さらに、レンタル費用が不要になることから、工事原価を低減し、収益性の改善にもつなげる。

【ケース2】生産性向上

<課題>

顧客からの問合せ、契約、施工管理、アフターフォロー等の情報を紙、Excel、メールなど複数の手段で管理しているため、情報確認や共有に時間を要している。

<補助金の活用例>

施工業務管理システムを導入することにより、案件単位で進捗や顧客情報を管理する。これにより、分散していた業務情報を整理し、社内の情報共有の迅速化、管理業務の省力化、対応漏れ防止、利益管理の可視化を実現し、施工業務の生産性向上と経営管理の効率化につなげる。



【ケース3】生産性向上・人材育成

<課題>

積算業務について、特定の熟練社員に属人化している。
また、積算効率が悪く、見積書提出までに膨大な時間を要するため、機会損失が発生している。

<補助金の活用例>

建築・土木特化型の積算ソフトを導入し、積算業務の標準化と高速化を図る。
積算業務の時間を削減することで生まれた人員と時間を、付加価値額の創出に充てる。
さらに、積算ソフトを使用することにより、経験の浅い社員でも迅速かつ高精度な積算を行うことが可能になり、業務の属人化の解消につなげる。